

自己点検・自己評価報告書
2021 年度

学校法人 栄戸学園
横浜未来看護専門学校
2022 年 8 月 16 日

1. 学校の運営目標

【教育理念】

学校法人栄戸学園は、「One for ALL, ALL for One」（一人は皆のために、皆は一人のために支え合う）の精神のもと、変動する社会に対応するために、未来を切り開く能力を備え、地域の保健・医療・福祉に貢献できる優れた人材を育成することを目的としています。

本校は、生命を尊重し温かく思いやりのある心を持ち、人と人との相互関係の中で成長し合い、チームとして協働できる人材を育成します。また、個人や家族、地域住民の視点に立ち、あらゆる健康状態やその変化に対応できる知識と技術を備えた看護専門職業人の育成をします。さらに、医療の進歩、社会情勢の変動を鑑み、広い視野で考え研鑽し続ける能力を養います。

【2021 年度 学校運営目標】

〔教育の質〕

1. 学生数の増員と本校の特色をふまえた新カリキュラムを編成し、運用計画を立案
2. COVID-19 の感染予防及び新カリキュラムを見越した授業（実習）展開の推進
3. COVID-19 の影響による学習不足を踏まえた授業（実習）展開と学生個々を尊重した支援
4. 看護師国家試験 100%合格を目指した学習支援体制の構築と計画実施

〔健全経営〕

5. 学生数の定員増及び教育課程の変更（新カリキュラム）、学納金の増額（施設設備費の新設）に伴う学則変更の申請・承認
6. 入学生募集人数の増員（60→80）に向けた学生確保対策の計画・実行
7. 学生数の定員増及び教育課程の変更（新カリキュラム）に伴う学習環境、実習施設の拡充
8. COVID-19 における感染予防対策の継続
9. 学校評価（自己点検自己評価）の継続と課題の改善（学校安全管理体制の見直しを重点）
10. 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献及び地域（施設）の連携

〔人材育成〕

11. 職員の資質向上のため研修体制の継続と目標管理の実施

〔人材確保〕

12. 学生の定員増に伴う専任教員の計画的な増員

2. 2021 年度の学校評価に関する取り組み

2019 年度の評価において、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン（平成 25 年）」評価指標から、私立専門学校等評価研究機構の「専門学校等評価基準書 Ver. 4.0」に変更した。小項目ごとの評価の視点、チェック項目、参考資料例と照らし合わせながら、評価を試みている。

2021 年度の重点課題として、①卒業生への支援体制確立、②防災・安全管理体制の整備、③学校評価における学校関係者評価の体制づくりがあげられた。

3. 評価項目別の達成および取り組み状況

評価項目の達成状況については、チェック項目や現状から査定し、小項目ごとに評定をつけた。また、中項目ごとに現状と課題を表記し、次年度の学校運営に役立てるものとする。

【評価基準】 適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

中項目	小項目	評価
1-1 理念・目的・ 育成人材像	1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	3
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4

【現状と課題】

- ・学校の教育理念・目的等について、入学時ガイダンスで学生への周知はしているが、保護者への周知はできていない。次年度からの新カリキュラムに関する人材育成像は、講師会や臨床指導者会議において、関係団体へは周知した。
- ・一学年定員を 80 名の増員は承認を得て、2022 年より開始する。中期的視点における将来構想としては、3 年後に総定員 240 名での運営を軌道に乗せることを優先する。

基準 2 学校運営

中項目	小項目	評価
2-2 運営方針	2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	4
2-3 事業計画	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	4
2-4 運営組織	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	3
2-5 人事・給与制度	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	3
2-6 意思決定システム	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	4
2-7 情報システム	2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	2

【現状と課題】

- ・カリキュラム改正に伴って 2022 年からの学則、学則施行細則を改定した。その他の規程に関しては見直しができなかった。
- ・人事採用の基準・規程は明確になっていない。昇進・昇給、人事考課については、事務課は戸田中央医科グループ（以下 TMG）の規程に従って行われている。教員に関しては、看護教員キャリアラダーを作成し、運用しはじめており、昇進の基準等に運用できるよう整備をする。
- ・学生の情報管理システムの運用は行われている。しかし、それを活用しての学生指導は行えていない。職員間の情報システムは、メールやフォルダの活用により行われているが、業務の効率化に関して半数の職員が当てはまらないとしている。データのバックアップは実施しているが、システムのメンテナンス、セキュリティ管理の体制は整備されていない。

基準 3 教育活動

中項目	小項目	評定
3-8 目標の設定	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4
	3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
3-9 教育方法・評価等	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
	3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	2
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3
	3-9-4 授業評価を実施しているか	2
3-10 成績評価・単位認定等	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3
3-11 資格・免許の取得の指導体制	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	4
3-12 教員・教員組織	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3
	3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	3
	3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3

【現状と課題】

教育課程

- ・2022 年度開始の新カリキュラムにおける教育課程を編成した。臨地実習の詳細な計画については、次年度に実習病院の協力を得て調整をする予定である。新カリキュラムについては、講師会、臨地実習指導者会議を開催し説明した。
- ・COVID-19 感染拡大の影響を受け、接触の多い技術については、感染拡大防止により演習に制限が生じた。また、実習施設受け入れが困難なこともあり、臨地体験が少なくなった。しかし、看護技術が経験できる事例の工夫をはかり、シミュレーションを活用した教育を行った。
- ・授業評価は、教員は独自で行っており、体系的には行われていない。

キャリア教育

- ・就職に向けてガイダンスを実施している。教職員はキャリア教育の認識が薄い。低学年から計画的に実施し教職員と情報共有し認識を高めなければならない。TMG の就職に関しては、病院説明会、病院見学（インターンシップ）の支援をしている。

教員の資質向上

- ・教員のレベルアップについては、TMG 看護教員ラダーを導入してレベルの確認ができるようにした。昇格措置と関連させてラダーの活用を進めたい。また、研修計画を定められるよう体制・組織づくりが必要である。

基準4 学習成果

中項目	小項目	評定
4-13 就職率	4-13-1 就職率の向上が図られているか	4
4-14 資格・免許の取得率	4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	4
4-15 卒業生の社会的評価	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	2

【現状と課題】

- ・学習成果としては、学内において、最終学年で「看護観」の発表をしている。今後は、外部にも発表できるような取組みをし、学生の意欲向上につなげたい。
- ・看護師国家試験は、96.6%の合格率で全校平均を0.1ポイント上回った。次年度も、100%を目指し個別的に学習支援を行っていく。
- ・卒業生の動向を把握できていない。同窓会の活動を支援し、同窓会総会の開催を目指す。

基準5 学生支援

中項目	小項目	評定
5-16 就職等進路	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3
5-17 中途退学への対応	5-17-1 退学率の低減が図られているか	3
5-18 学生相談	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	4
5-19 学生生活	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	1
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	1
5-20 保護者との連携	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	3
5-21 卒業生・社会人	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	2
	5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2
	5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	2

【現状と課題】

就職進路

- ・就職・進路支援については、TMG 就職スケジュールに沿って進めている。病院選びや就活マナーについて、

2 年生後期から開始している。就職のための支援体制やキャリア教育の構築をすすめたい。

中途退学の対応

- ・ 2021 年度の退学者は 6 名（3%）であり、入学前からメンタル面に問題があるが克服できずに、退学に至っている。カウンセリングや受診をすすめて、学業継続を支援している。

学生相談

- ・ 週 1 回、カウンセリング日を設け、予約もできるようにしている。しかし、相談室（カウンセリング室）に入りにくいという意見があり、利用しやすい環境にする必要がある。

学生生活

- ・ COVID-19 感染症の感染予防対策として、マスク・フェイスシールドの着用や室内の換気や清掃消毒を取り決め、実施した。また、ワクチンを関連病院と連携して接種することができた。

保護者との連携

- ・ COVID-19 の感染予防の観点から、保護者会の開催ができていない。そのため、保護者との連携体制がないというアンケート結果がでている。問題のある学生に関しては担任が連絡をしている。保護者への発信手段及び保護者会の開催を検討する。

卒業生への支援

- ・ 同窓会に関しては、発足はしたが活動ができていないため、学校が支援して活動を推進し、それにより卒業生の動向の把握にも努める。卒業生の図書室の利用については、COVID-19 感染症拡大時は、利用を中断したが再開している。

社会人のニーズ

- ・ 社会人に対する教育環境整備については、特に配慮はしていない。

基準 6 教育環境

中項目	小項目	評価
6-22 施設・設備等	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
6-23 学外実習、インターンシップ等	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4
6-24 防災・安全管理	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	2

【現状と課題】

防災

- ・ 防災（消防）訓練は、年 2 回実施、訓練要項を見直し、アクションカードの作成を行った。教職員全員の訓練ができていないこと、また、臨地実習の状況設定がされていないことから、実践的な想定での訓練も必要である。
- ・ 備品の転倒防止など行っているが、安全管理の点検システムがないため、徹底できる体制づくりが必要である。

安全管理

- ・ 学校安全管理規定はあるが、周知できていない。また、見直しも必要であり、授業中の発生事故、学外授業や実習の安全管理、危険物の管理などのマニュアルも整備し、運用しなければならない。

基準 7 学生の募集と受け入れ

中項目	小項目	評価
7-25 学生募集活動	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3

	7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4
7-26 入学選考	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
7-27 学納金	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	4

【現状と課題】

- ・学生募集活動は、前年に比べてコロナ禍ではあるが回数を増やすことができたが、受験者は減少した。高校生の大学志向が高まっているため、高校接続の強化、社会人入学を促進する対策が必要である。
- ・入学者の傾向については、進研アドの入学前教育、入学後の基礎力リサーチ(テスト・アンケート)を実施して、把握に努めている。
- ・学納金について、保護者からの問い合わせがあることから明示、説明が必要である。

基準 8 財務

中項目	小項目	評価
8-28 財務基盤	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
8-29 予算・収支計画	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
8-30 監査	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
8-31 財務情報の公開	8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3

【現状と課題】

- ・財務情報の公開に関しては、できていない。

基準 9 法令等の遵守

中項目	小項目	評価
9-32 関係法令、設置基準等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3
9-33 個人情報保護	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3
9-34 学校評価	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4

	9-34-2 自己評価結果を公表しているか	4
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	1
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	1
9-35 教育情報の公開	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3

【現状と課題】

- ・法令遵守している。ハラスメントに関しては、TMG 職員対象に講習（e ラーニング）があり受講した。
- ・学校評価においては、学校関係者評価の体制づくりが必要である。

基準 10 社会貢献・地域貢献

中項目	小項目	評定
10-36 社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	1
10-37 ボランティア活動	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	1

【現状と課題】

- ・2021 年度より英検の試験会場として施設提供をしている。また、ボランティア活動は、COVID-19 感染予防の観点から中断しているが、落ち着けば、再開するとともに、地域から愛される学校を目指し、地域貢献できることを検討していきたい。

4. 総合的な評価結果と課題

2021 年度の課題としては、①卒業生への支援体制確立、②防災・安全管理体制の整備、③学校評価における学校関係者評価の体制づくりがあげられた。今年度はカリキュラム改正によるカリキュラム構築と申請書類の提出、COVID-19 感染症の対応で、課題の取り組みが後回しになってしまった。

学校運営においては、COVID-19 感染症の影響で、教育活動の制限が生じつつも、所定のカリキュラムを終えることができた。その中で、2021 年度の自己点検自己評価の結果として得られた課題（評価点が低い）は、①授業評価において、基礎分野・専門基礎分野の授業評価をしていない。また、学校として統一した評価基準がない点（基準 3）、②卒業生への対応として、卒後の実態把握がなく、支援体制が整えられていない点（基準 5）、③教育環境として、安全管理体制の整備がなされていない点（基準 6）、④学校評価において、学校関係者評価がなされていない点（基準 9）である。

2022 年度は、2021 年度の評価結果に基づいた対応策の実施、新カリキュラムの運営と学生数の増員に伴う運営上の課題抽出とその対応が必要となる。